

平成19年9月期 中間決算説明資料

(平成18年10月1日～平成19年3月31日)

平成19年7月

日本フォームサービス株式会社

(証券コード: JASDAQ7869)



連結貸借対照表

(単位:百万円未満切捨)

	第51期中間会計期間末 平成19年3月31日現在		第50期中間会計期間末 平成18年3月31日現在	
	金額	構成比	金額	構成比
流動資産	1,030	24.1	864	21.0
固定資産	3,245	75.9	3,254	79.0
資産合計	4,275	100.0	4,119	100.0
流動負債	968	22.7	758	18.4
固定負債	516	12.0	641	15.6
負債合計	1,484	34.7	1,399	34.0
純資産合計	2,790	65.7	2,719	66.0
負債純資産合計	4,275	100.0	4,119	100.0

連結損益計算書

(単位:百万円未満切捨)

	第51期中間会計期間 自 平成18年10月1日 至 平成19年3月31日		第50期中間会計期間 自 平成17年10月1日 至 平成18年3月31日	
	金額	百分比	金額	百分比
売上高	1,434	100.0	1,485	100.0
売上原価	996	69.5	1,003	67.6
売上総利益	437	30.5	481	32.4
販売費及び一般管理費	411	28.6	383	25.8
営業利益	26	1.9	98	6.6
営業外収益	7	0.5	5	0.4
営業外費用	10	0.7	9	0.6
経常利益	23	1.7	94	6.4
特別利益	23	1.6	40	2.7
特別損失	5	0.4	41	2.8
税金等調整前当期純利益	41	2.9	93	6.3
法人税、住民税及び事業税	8		45	
過年度法人税戻入益	1			
法人税等調整額	12		2	
当期純利益又は当期純損失()	22	1.6	50	3.4

個別貸借対照表

(単位:百万円未満切捨)

	第51期中間会計期間末 平成19年3月31日現在		第50期中間会計期間末 平成18年3月31日現在	
	金額	構成比	金額	構成比
流動資産	1,001	23.3	808	19.7
固定資産	3,289	76.7	3,299	80.3
資産合計	4,290	100.0	4,108	100.0
流動負債	1,007	23.5	746	18.2
固定負債	516	12.0	641	15.6
負債合計	1,523	35.5	1,387	33.8
資本合計	2,766	64.5	2,721	66.2
負債及び資本合計	4,290	100.0	4,108	100.0

個別損益計算書

(単位:百万円未満切捨)

	第51期中間会計期間 自 平成18年10月1日 至 平成19年3月31日		第50期中間会計期間 自 平成17年10月1日 至 平成18年3月31日	
	金額	百分比	金額	百分比
売上高	1,434	100.0	1,485	100.0
売上原価	1,032	72.0	1,046	70.4
売上総利益	402	28.0	439	29.6
販売費及び一般管理費	387	27.0	364	24.6
営業利益又	15	1.0	74	5.0
営業外収益	7	0.5	5	0.3
営業外費用	10	0.7	9	0.6
経常利益	12	0.8	70	4.7
特別利益	23	1.6	40	2.7
特別損失	5	0.3	41	2.8
税引前当期純利益	30	2.1	68	4.6
法人税、住民税及び事業税	1		39	
過年度法人税戻入益	1			
法人税等調整額	14		2	
当期純利益	15	1.1	31	2.1

財政状況の概要(連結)

主な増減要因

(単位:百万円未満切捨)

【流動資産】

	51期中間	50期中間	増減
現金及び預金	158	142	16
売掛金	697	588	108
たな卸資産	146	112	34

【固定資産】

	51期中間	50期中間	増減
有形固定資産	3,141	3,165	24

【流動負債】

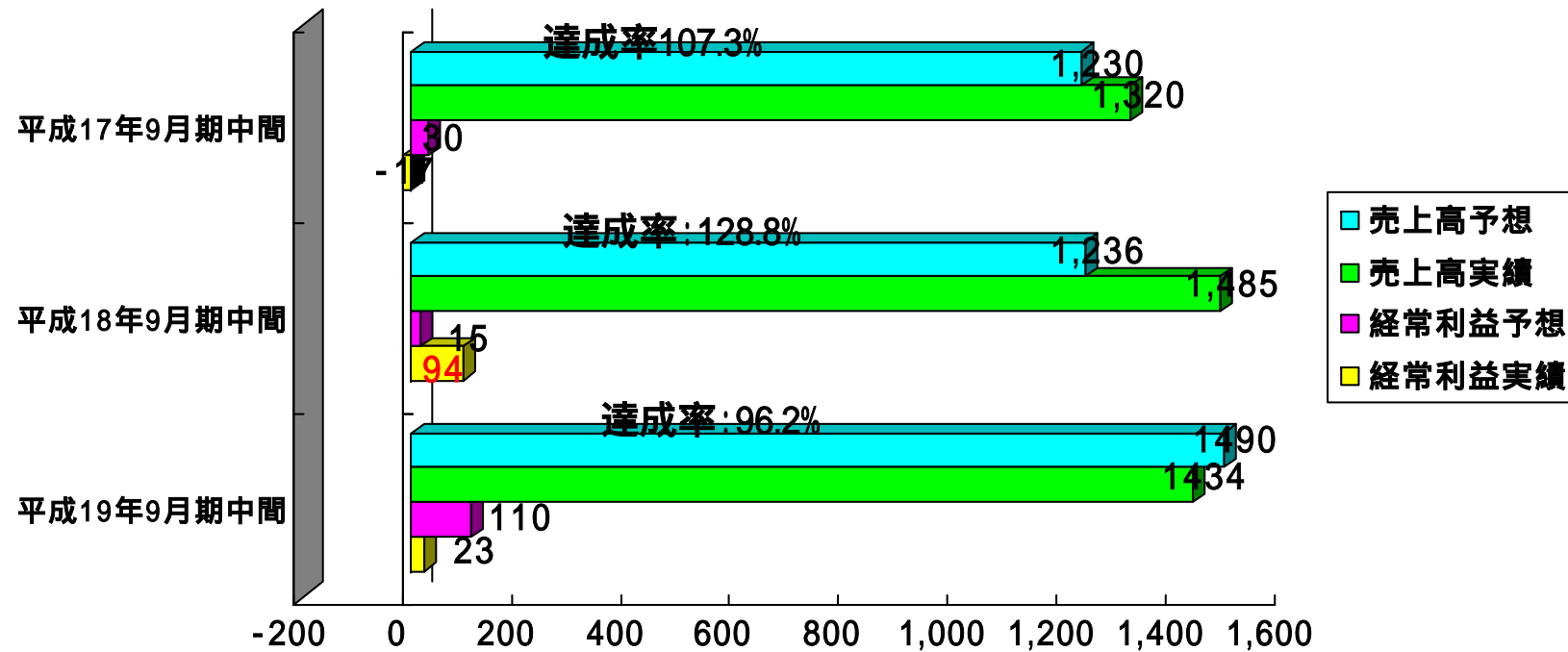
	51期中間	50期中間	増減
短期借入金	493	235	258
1年内長期借入金	124	143	18

【固定負債】

	51期中間	50期中間	増減
長期借入金	409	534	124

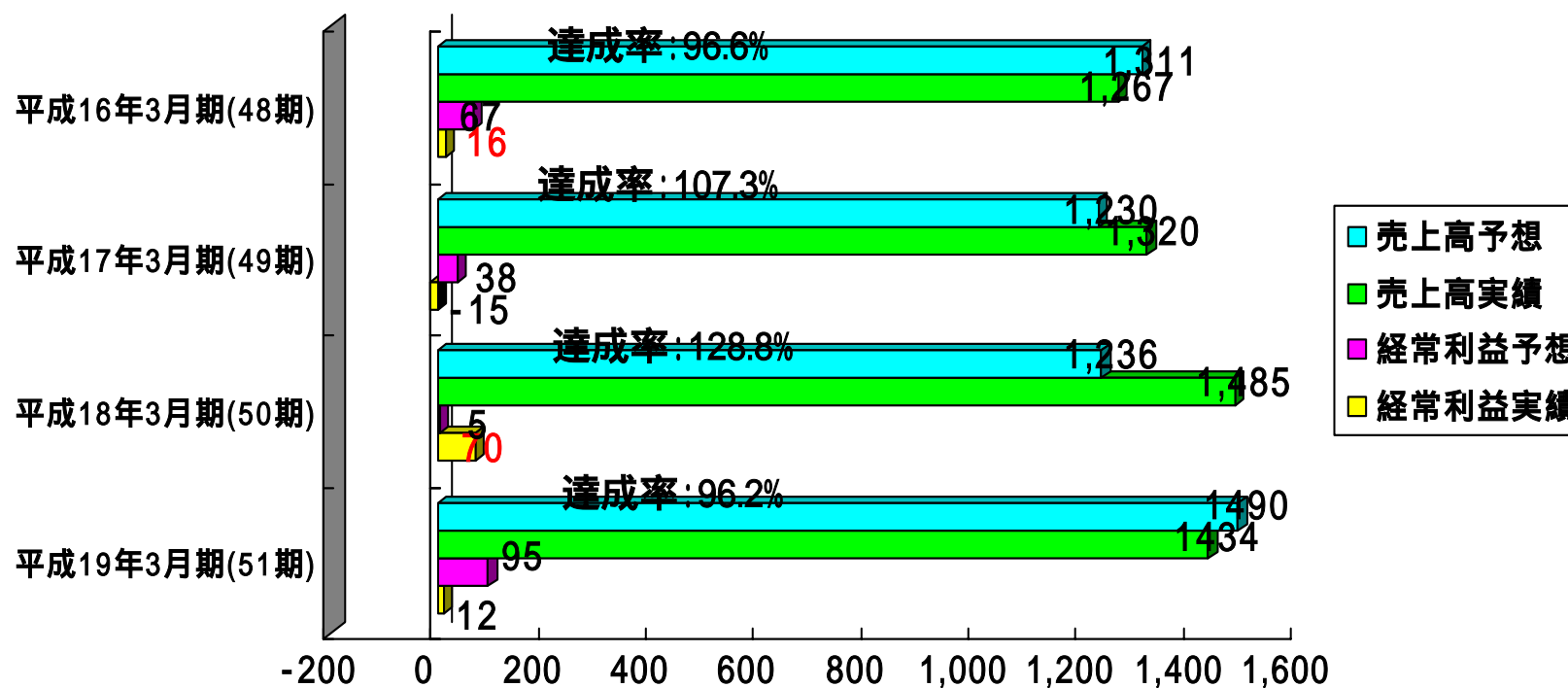
連結業績推移

(単位=百万円未満切捨)



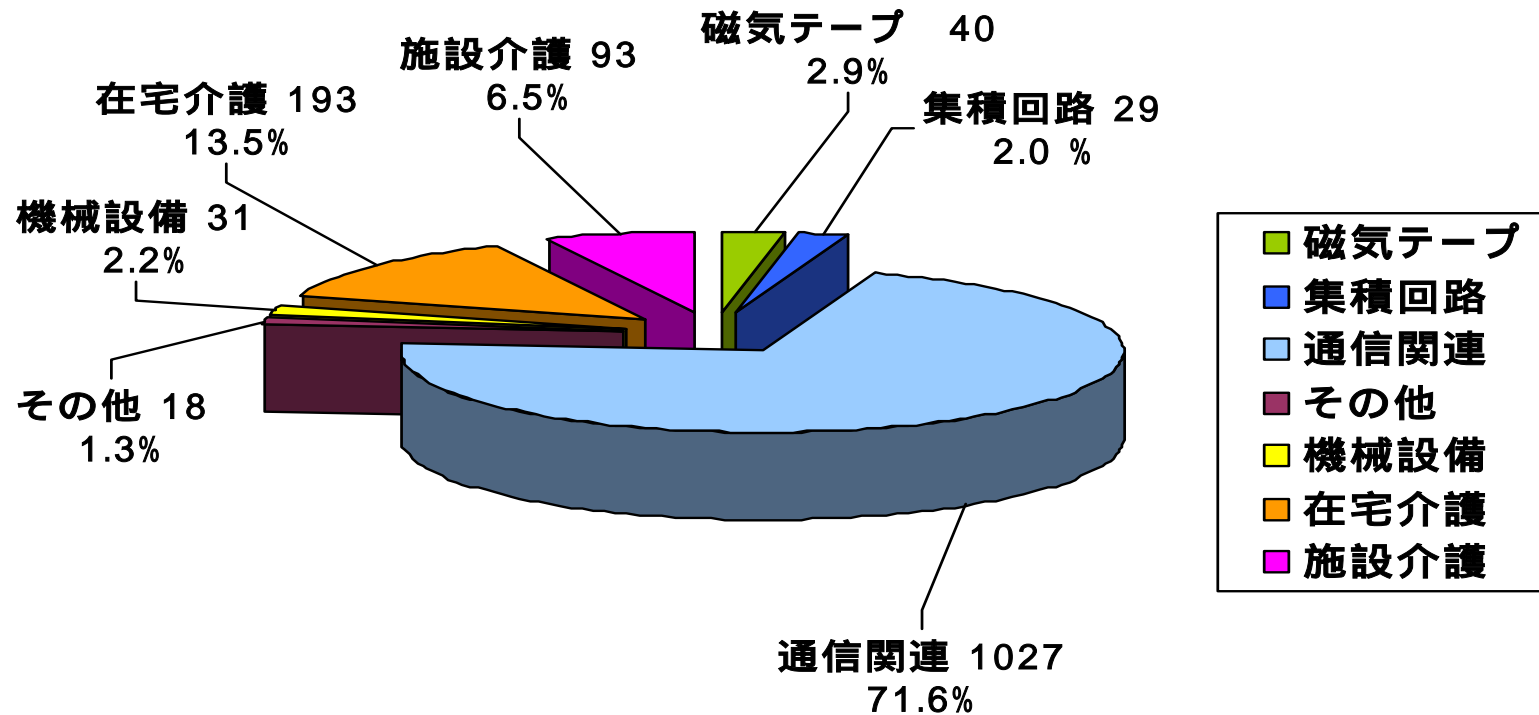
個別業績推移

(単位=百万円未満切捨)



当中間期 セグメント別売上高(連結)

(単位:百万円未満切捨)



第50期中間期売上高
売上高 1,434百万円

【当中間予想と実績(連結)】

【売上高】

(単位:百万円未満切捨)

	期初予想	実績	予実差
全社計	1,490	1,434	56
メーカ一部門	1,203	1,147	56
介護事業部	287	287	0

【営業利益】

(単位:百万円未満切捨)

	期初予想	実績	予実差
全社計	110	26	84
メーカ一部門	110	48	62
介護事業部	0	22	22

【 検 証 （ 経 常 利 益 ） 】

・ソリューション1部（アーム関連）

販売経路を具体的かつ明確にすることで、販売強化・利益確保に努める。

医療機器メーカー：バルーンアーム・モバイルワークスタンド

半導体製造機器メーカー：ジョイントアーム・バルーンアーム

大型表示機分野：壁掛け金具・天吊り金具

液晶の大型化はあと2～3年は大きく成長の見込があるのでこの成長に乗り遅れない。

・ソリューション2部（ラック関連）

大口案件はあるものの、コストダウンの要求・短納期化による外注依存により利益確保が厳しい。

鍵管理BOX等他社との差別化を一層鮮明にする。

【 検 証 （ 経 常 利 益 ）】

- ・特機部

利益確保の難しい物件が多すぎた。

- ・千葉工場

営業よりの受注減少

【 検証（経常利益）】

・介護事業部(在宅介護サービス)

平成18年4月の介護保険制度の改正により訪問介護事業のビジネスモデルが大きく変化している。

報酬体系の見直しの影響が出始め、介護予防サービスへとシフトすることで顧客の減少等、利益確保が厳しい状況であるが、赤字体質からの脱却に目処が出来た。

人件費等の無駄な経費を削除

通所介護サービスは順調な集客により利益確保している。

・介護事業部(地域密着型介護サービス)

認知症対応型共同生活介護は予定通り満室にて推移している

当期の業績予想(連結)

(平成18年10月～平成19年9月)

(単位:百万円未満切捨)

	日本フォームサービス(株)			フォービステクノ(株)	連結調整	全社
	メーカー	介護	計			
売上高	2,517	577	3,094	342	342	3,094
経常利益	159	26	133	36	6	163

注) 平成19年5月15日発表の「平成19年9月期 中間決算短信(連結)」の通期予想より

当期の目標

(平成18年10月～平成19年9月)

他に類を見ない新製品の開発

**IC・メカとの組合せた製品開発
液晶・プラズマの大型化の対応製品**

経営陣の若返りの模索

積極的な設備投資(生産設備・システム投資)により、間接部門の合理化の推進

当期ノルマ達成するには！

(函物及び機械設備関連事業)

液晶・プラズマはあと2、3年は成長し、現在の3～4倍の需要が見込まれる。昨今、大型化が顕著な故に、取付金具(壁掛・天吊)も年率3～4割の成長があると思われる。また、モニターだけでなく、家庭用大型テレビの取り付けアームの開発に着手する。

現在受注を受けている大型案件の確実な納入。

来期以降も大きく成長すると思われる鍵管理BOX・マテハン特殊機器の開発。

当期ノルマ達成するには！ (介護関連事業)

現在の介護保険制度の仕組み(特に在宅介護サービス)では、利益は出にくい。

介護拠点の見直し(不採算拠点の合理化及び統廃合)

介護予防運動を目的とした通所介護を今まで以上に充実・拡張
(お元気クラブ)

在宅介護支援センター受託によるメリットを最大限に活用する。

小規模多機能型は徐々に実績が出ており、区の援助(紹介)により今まで以上の需要が見込める。

在宅系より地域密着型のほうに力を置く。

当期ノルマ達成するには！

(フォービステクノ株)

間違いなく成長が見込める業種ゆえに積極的な設備投資が必要。

将来の経営者の育成も含め、優秀な人材の確保。

2～3年先までは液晶・プラズマ等の成長見込により、親会社からの大幅な受注が見込めることから現在の工場では手狭感がある

フォービステクノ株生産設備の導入